

2018年度がん征圧全国大会シンポジウム

受診者の減少を食い止める

「検診機関の立場から」

公益財団法人ちば県民保健予防財団
常務理事 片桐克美

当財団の概要

設 立 対がん協会、結核予防会、予防衛生協会、医療センターの4団体が統合

平成15年4月1日 財団法人ちば県民保健予防財団設立

平成17年1月11日 総合健診センターをオープン（この時点で完全統合となった）

平成24年4月1日 公益財団法人に移行（千葉県知事認定 千葉県疾病指令第940号）

事業規模

経常収益 5,748,284,524円（平成29年度決算より）

職 員 数	362名	検 診 車 両	50台
医 師	23名	胸部検診車	17台
保 健 師	21名	胃部検診車	16台
看 護 師	58名	子宮がん検診車	3台
臨床検査技師	88名	乳がんMMG検診車	7台
放射線技師	34名	乳がんエコー検診車	4台
そ の 他	138名	循環器検診車	3台

総合健診センターの事業

健診・検査(一次・二次検診、精密検査)

人間ドック

一般診療

呼吸器(内科・外科)

循環器内科

肝臓内科

内分泌(甲状腺)内科

消化器内科

乳腺外科

婦人科

遺伝カウンセリング外来(平成27年10月より開始)

1.常勤専門医師の指導により、一次検診から精密検査までの一貫体制を整備

2.クオリティの高い検診を実施

正しい検査を行うための体制づくり（各種認定を受けることより体制を整備）

マンモグラフィ検診施設画像認定証(第5885号)

日本臨床細胞学会施設認定(第0312号)

日本消化器内視鏡学会指導施設認定(20120009号)

超音波専門医精度研修施設認定(第23-25-620号)

ISO15189認定(JAB Medical RML00710) …臨床検査の技能・知識の国際標準

ほか

精度管理 正しい検査精度の維持（内部精度管理および外部精度管理を実施している。）

日本医師会臨床検査精度管理調査

エックス線写真精度管理調査(全衛連)

腹部超音波検査精度管理調査(全衛連)

結核予防会胸部検診対策委員会フィルム評価会

日臨技臨床検査精度管理調査(施設総合評価)

ほか

プライバシー保護 プライバシーの確保、受診者満足度向上のために

プライバシーマーク認定(第14200029号) ほか

3.がん検診の普及啓発活動

普及啓発事業として

情報収集・提供、健康福祉センターや市町村保健センターへの
専門医による技術的指導、指導者養成等の支援
広報誌の発行、予防活動、セミナーの開催などを実施している

広報誌 「けんこうChiba」の発行
がん予防征圧月間の取組
がん予防展、がん講演会の開催

年4回 6,000部
ポスター 3,500部配布
予防展 年1回、
講演会 年10回位

自治体等の健康まつりへの協力
教育教材・機器の貸し出し ほか

4.受診率向上や効果的・効率的ながん検診の検討を目的とした、市町村と共同で行うモデル事業の実施

<モデル事業の概要>

がん検診の受診率向上や効果的・効率的ながん検診の検討を目的に新たな検診項目を追加したがん検診を提案し、市町村と共同で3年間検診を実施し、2年間の追跡調査を行うモデル事業を推進している

過去の実績

肺がん関係

胸部エックス線撮影のデジタル化(間接撮影→デジタル撮影)
COPD問診および呼吸機能検査を加えた肺がん検診

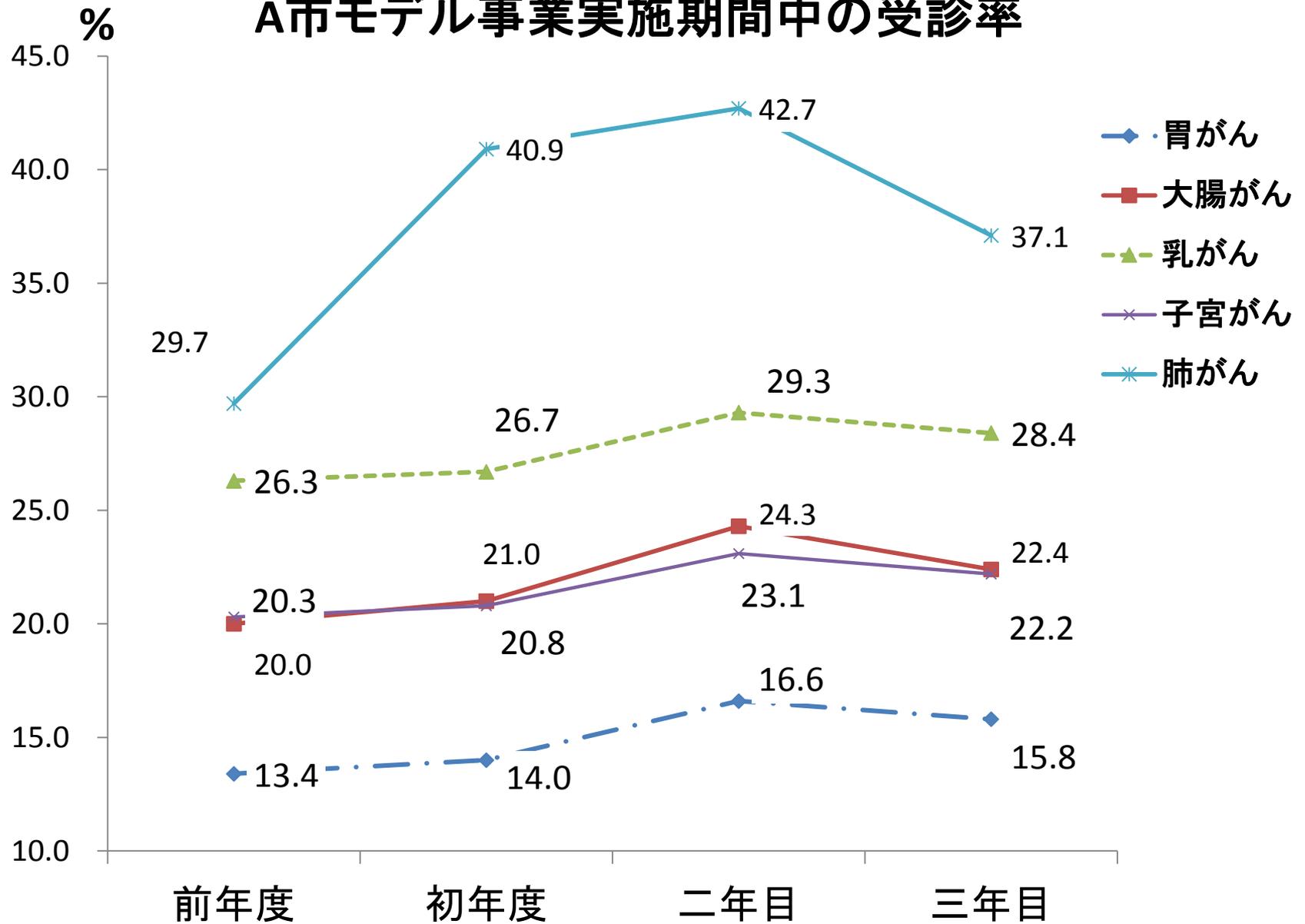
胃がん関係

ピロリ菌抗体検査、ペプシノーゲン検査

子宮頸がん関係

ベセスダシステムと液状化検体法
HPV(ヒトパピローマウイルス)検査との併用検診

A市モデル事業実施期間中の受診率

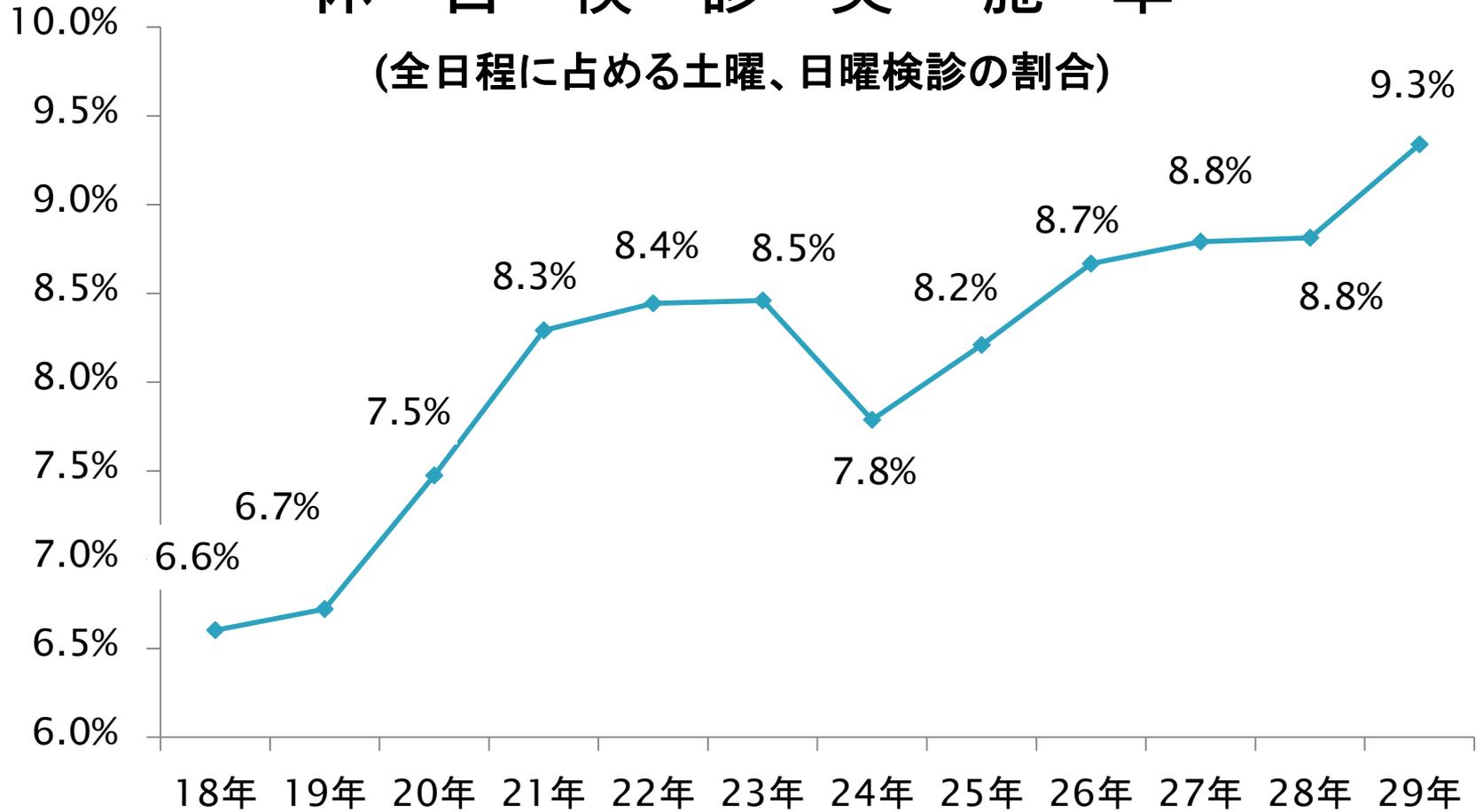


5. 受診者の希望に沿った検診の実施

- ・休日がん検診(土曜、日曜日検診)
- ・ウェブ予約の導入(待ち時間の短縮・検診受診日の変更)
パソコン、スマホからの予約
- ・子供を一時的に預かることにより、乳幼児がいる母親の受診率向上を目的とした検診
「子供の見守り乳がん検診・子宮がん検診」

休日検診実施率

(全日程に占める土曜、日曜検診の割合)

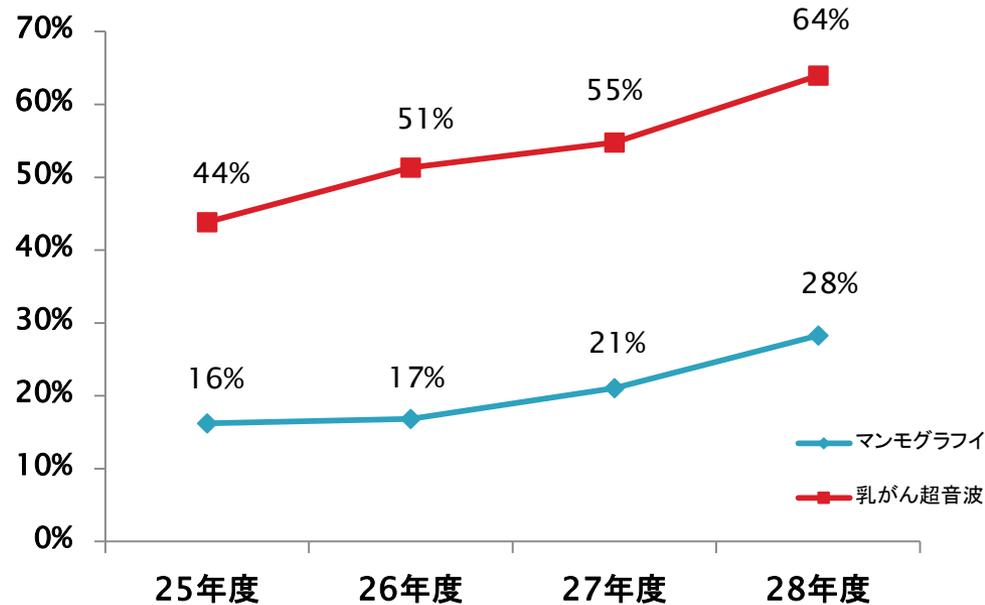


A市におけるWEB予約の利用状況

(事前予約変更の対応方法として)

検診区分		25年度	26年度	27年度	28年度
マンモグラフィ	電話予約	300	287	311	274
	web予約	58	58	83	108
	計	358	345	394	382
乳がん超音波	電話予約	192	183	214	152
	web予約	150	193	259	270
	計	342	376	473	422

web予約利用率の推移



まとめ

1. 常勤専門医の指導による一次検診から精密検査までの一貫体制を整備
2. クオリティが高い検診の実施(品質管理、受診者満足度の向上、セキュリティ、プライバシーの保護に重点)
3. 普及啓発、助成事業による、がん検診の啓発活動
4. 受診率向上や効果的・効率的ながん検診の検討を目的とした、市町村と共同で行うモデル事業の推進
5. 休日検診の実施、web予約による待ち時間の短縮と利便性の確保、子育て世代への検診対応など、受診者の要望に沿った検診の実施